第21回

福岡市都市景観賞

The 21st FUKUOKA Urban Beautification Award 2007

受賞作品

今年の審査では、例年になく多彩で魅力のある推薦が多く、市民の関心が広く深く浸透してきていることを実感した。今年の推薦件数は276件。厳正な検討の結果、22件が二次審査（現地審査）に残った。朝9時から夕方5時までの丸一日をかけた現地審査の後の最終審査は、印象が新鮮であるうちに審査をしようとするもので、疲れを超えた迫真の議論が展開された。

今年の福岡市都市景観賞は、市民の景観意識の高まりを象徴し、新旧、大小、公民の市民生活に直結したものになった。歴史的な物件に例年以上に注目が集まり、都心に潤いを与えている「水鏡天満宮」、博多の老舗の風格を伝える「料亭老松」、浄水通りに隣接した一画で清らかな空気をつくり出してきた「カトリック福岡司教館」が選ばれた。公共的な事業では、何回も最終候補になりながら地域の熟成を待とうと見送られてきた「黒門川通り」がついに受賞することとなった。「アイランドシティ中央公園の『ぐりんぐりん』」は、伊東豊雄氏の意欲作である。「福岡市葬祭場（刻の森）」は、住民参加による検討をふまえて、清楚で凛とした空間をつくり出した。「博多消防団那珂分団車庫」は、地域によって支えられている消防組織の拠点であり、明快で歯切れのいい造形に感心した。個人住宅の選考はなかなか難しいが、今年は「蔵のある家」が受賞した。蔵を活かし、昔からの建材も活かして新たな伝承をはかった理念、空間ともに見事な物件である。

この他に、数件の候補が最後まで鍔ぜりあいを行った。今年の審査では、市民生活とのかかわりが重視されたが、十分に受賞できる対象は多いので、これはと思うものは来年もぜひ推薦していただきたい。

特別賞は「明後日朝顔プロジェクト2007福岡」が受賞した。厳選した結果1点になってしまった。個人としては企業の活動も表彰したかったが、残念ながら資料不足であった。この部門は広報不足でもあり、来年度は力を入れたい。

景観エッセーは、牛尾佳渚さんの「夏のとき」、前田留美さんの「都会の空洞」、石橋沙弓さんの「トトロの森だ！こうの巣山は」、荒木好美さんの「とっておきの景観」が入選した。いずれも福岡を心から愛し、体験を彩るシーンを鮮明に記述したものであった。

福岡市都市景観賞が、造形的にすぐれたものを表彰するだけでなく、市民と心がつながっているものであることを確信し、願った、今年の審査であった。

審査委員長　佐藤 優

福岡市都市景観賞審査委員会委員
（50音順 敬称略）

池田美奈子	九州大学准教授
包清　博之	九州大学教授
坂井　　猛	九州大学教授
佐藤　　優	九州大学教授
中村　耕二	福岡市都市整備局長
中村　敏子	九州朝日放送（株）広報室担当部長
三浦　佳世	九州大学教授
森岡　侑士	NPOデザイン都市・プロジェクト理事長
山下　三平	九州産業大学教授

一般表彰 ● General Commendation Review

高架の外環状道路から一歩入った片江の住宅地には、今も蔵のある家が点在する。松隈邸は敷地内にある築百年の蔵と調和をとりながら建て替えられたモダンな和風住宅である。白と黒を基調にスタイリッシュできりりとした外観と、ゆったりとした時の流れを感じさせる古い蔵が、それぞれを引き立てている。建物内部には、築90年の旧家にあった大黒柱や梁、建具などが再利用されており、住んでいた家族の記憶や歴史を大切にする想いが伝わってくる。玄関上部の大きなガラス窓は、行灯をイメージしてデザインされたという。夜、建物からもれる灯かりは、道標の役割だけでなく行き交う人の心も温かくするに違いない。

（審査委員　中村 敏子）

Residence with a "Kura"(traditional Japanese storehouse)

蔵のある家

城南区片江3丁目34番3号

用途：住宅　　完成年月：2006（平成18）年10月
所有者：松隈 泰人
設計者：松隈 守城/やなもと建築設計室
施工者：（株）末永工務店

中州の突端近く、博多川に面して、和風の建築が静かにまたずっしりとたたずむ。昭和22年の建造というから既に多くの改修を経たことであろうし、また周辺の土地利用や環境の変化も著しいものがあるに違いない。料亭の性格から、「招く」と「拒む」という両面が、空間的に表現されている必要があろうが、それが、川という博多にとっての大事な景観要素との関係、また見事な塀の連続によって果たされている。建物の外観がモルタルになっていることは惜しまれるが、東南側の街路を隔てた無機質なパーキング施設は、一見その存在さえも分からぬほどのマキの生垣で隠され、街区単位での景観形成へのたゆみない努力が伺われることが評価される。

（審査委員　森岡 侑士）

Restaurant OIMATSU

料亭老松

博多区中洲中島町4番1号

用途：料亭
完成年月：1947（昭和22）年
所有者：上野 恵子

南公園の東に位置し、浄水通教会の北側に隣接する、緑の木々に囲まれた白亜の館である。カトリックの施設だが、礼拝堂のような強い視覚的象徴性はない。しかし、それに負けない存在感がある。歴史・伝統と原生自然のいずれの極の範疇にも収まらず、しかも世俗の過激な功利とも異質な佇まいを示すこと―これがこの空間の景観的な存在感の理由ではないか。九州らしいクスノキの保存樹の奥にある白い建物が、宗教的精神性とも関連する日々の清掃の営みとともに、日本の風土にローカライズされたインマヌエル（神共に在す）の教えを、図らずも表しているようだ。こうしてこの空間は、生活景のあるべき姿の一つを、人々に暗示しているように思われる。

（審査委員　山下 三平）

House of Bishop, Catholic Diocese of Fukuoka

カトリック福岡司教館

中央区浄水通39番

用途：司教館
完成年月：1934（昭和9）年1月
所有者：宗教法人カトリック福岡司教区